

あなたの研究成果を リポジトリから発信しませんか？

千葉大学では学術成果リポジトリ **CURATOR** で学内の教職員・大学院生の皆さんの研究・教育成果物（論文等）を**オープンアクセス**化します。



CHIBA UNIVERSITY REPOSITORY
for Access to Outcomes from Research



<http://mitizane.ll.chiba-u.jp/curator/>

オープンアクセス (Open Access, OA)

学術情報を、インターネットを通じて誰もが無料で閲覧可能な状態にすること。

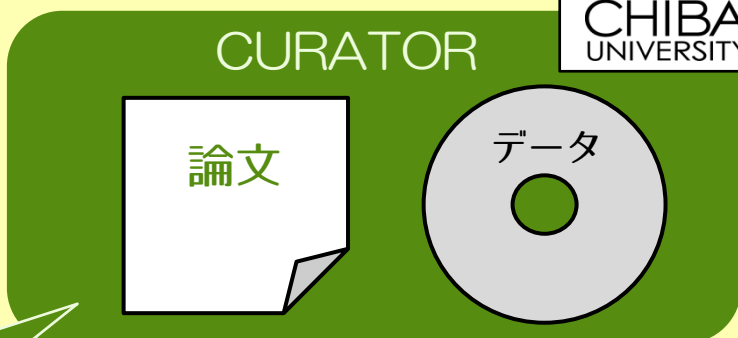


CURATORを利用するメリット



千葉大の研究者

研究成果の
提供



登録すると自動的にCiNiiやJAIRO、
Googleなどの検索対象になります！
一般市民には敷居が高い研究論文も
人の目に触れる機会が多くなります

無料で
閲覧



一般市民

研究者にとって

- ◆ 研究成果のPR
- ◆ 研究成果の管理・発信・保存コスト削減
- ◆ 論文の視認性向上

一般市民にとって

- ◆ 学術情報流通の可視化

論文をWebに公開するのに
お金はかからない！

- ！ CURATORでは本学博士論文を登録・公開しています。
- ！ 科研費実績報告書および実施状況報告書の研究成果論文をCURATORに登録すると、オープンアクセス化に関するチェックボックスにチェックすることができます。
- ！ ぜひCURATORをご利用ください。



CURATORに関するQ&A

Q1. 研究成果をCURATORに登録したいけど、方法がわからない…

A1. 論文やデータを添えて担当者へご連絡ください。

電子メールにファイルを添付して送信していただくのが一般的ですが、ファイルサイズが大きい場合は学内便などでも受付可能です。学内便をご利用の場合は、DVD-ROMやUSBメモリ等をご用意ください（データをコピーした後、返送いたします）。

連絡先 千葉大学附属図書館利用支援企画課 CURATOR担当
Tel: (内) 2254 / Mail: ir@office.chiba-u.jp

※投稿先の学術誌によってリポジトリやセルフアーカイブでの公開が禁じられている場合（A2参照）や、論文の公開について共著者全員の許諾が得られない場合は公開できません。ご了承ください。

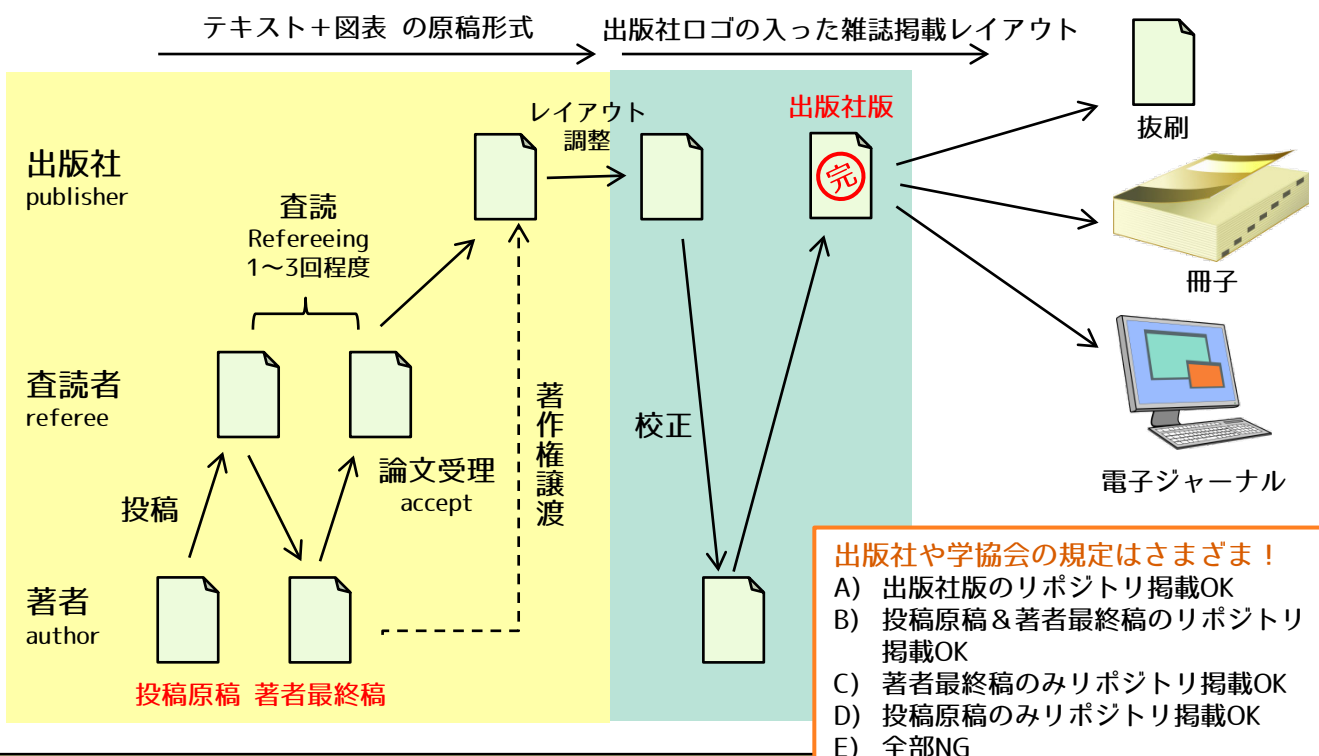
Q2. すでに学術誌に投稿済・掲載済の論文をCURATORに登録して無料公開してもいいの？

A2. 投稿先の出版社や学協会によって規定が異なります。
規定が不明の場合は、担当者が調査します。

すでに学術誌等で発表された論文をCURATORに掲載する場合、著者と出版社（学協会）の間で著作権譲渡契約が結ばれているため、著作権の所在が問題になる場合があります。海外の多くの出版社（Elsevier, Nature等大手出版社を含む）は、著者最終稿の機関リポジトリでの公開を認めています。認めていない出版社や学協会も多くあり、対応は千差万別です。

どうしたらいいかわからなくなってしまった場合は、CURATORでの公開可否を担当者が調査しますので、ご安心ください。

著作物の公開がどの段階の原稿について許諾されているかは出版社や学会によって異なる



著者最終稿：雑誌に掲載される直前の、著者の手元にある最終の版。

出版社版：査読が終わり、雑誌に掲載するためにレイアウト等も整えられた論文。読者の目に触れるものです。